

STREAM REPORT 2011

証券コード: 3071

2011年1月期報告書

2010年2月1日 >>> 2011年1月31日



Stream

インターネット通販市場の概要と 「ストリーム」成長の軌跡と源泉

■ 通販の歴史

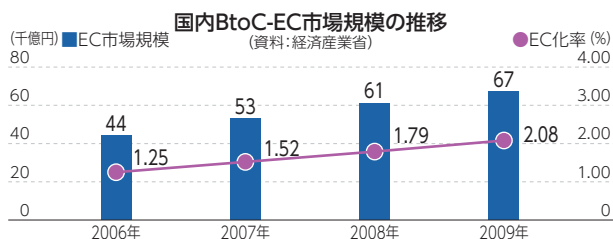
その歴史は、19世紀のアメリカで地方の農民を対象にカタログ販売の開始が起源とされています。その後、鉄道網や郵便網の拡充が進み、19世紀末期には「シアーズ」など大手のカタログ販売小売業が設立され今日の基礎が作られました。日本では「農業雑誌」で、1876年(明治9年)にアメリカ産トウモロコシの種の通信販売が最初といわれており、戦後ラジオ受信機製作用電子部品の雑誌広告による通信販売、又、大手百貨店の通信販売への参入で産業として確立していった経緯があります。1960年代にはカタログ販売の専門業者が設立され、1970年代からはテレビ、ラジオショッピングが行われるようになりました。1980年代後半以後は宅配便サービスの拡充、さらに1990年代以降はインターネットの拡大によって大きく発展し現在に至っております。

■ 2014年には12兆円市場に成長

インターネットビジネス、その中でも日本におけるBtoC電子商取引(EC)市場規模は2009年に6兆6960億円となっており、2007年の5兆3440億円から25.3%増加し、2014年には12兆円程度に成長することが見込まれております。

これら最近のBtoC-EC市場の拡大の要因として、消費者サイドにおいてはより安く、より賢く、手間が省けるネットショッピングが購買手法として定着してきたこと、又、供給サ

イドにおいては、これまで様子見であった小売・製造業者の本格的な参入があります。更にはITインフラや情報端末の進化などハード面の拡充やソーシャルコマースなどの新たなネット販売手法等ソフト面の変化挙げられます。



■ ストリームのHISTORY

ストリームは1999年7月に中国(香港)向けパソコン及び周辺機器の輸出を目的に文京区湯島にて創業いたしました。2000年1月ECサイト「Sunshine」を開設、国内のインターネット通販を開始、2002年1月ECサイト「Sunshine」を「ECカレント」としてリニューアルしインターネット通販へ本格参入いたしました。

その後EC市場の拡大を背景に、ネット通販事業者としてECに特化したシームレスな業務の仕組みを構築し業容を拡大させました。2005年9月には(株)ベスト電器とタイアップし家電商材を大幅に拡充させ、2007年2月に東証マザーズ市場に株式上場致しました。

更に、2009年2月には(株)ベスト電器のネット通販子会社であった(株)イーベストを子会社化、同年3月には(株)ソフトクリエイトのネット通販部門の事業譲渡を受け(株)特価COMをスタートさせ現在に至っております。

年月	概要
1999年 7月	●東京都文京区湯島に(株)ストリーム設立(資本金1,000万円)
2000年 11月	●本社を東京都千代田区外神田へ移転
2002年 1月	●ECサイト「Sunshine」を「ecカレント」としてリニューアルし、インターネット通販に本格参入
2002年 11月	●「上海思多励国际贸易有限公司」(「上海ストリーム」)を中国上海市に設立 ●携帯電話部品の販売を開始
2005年 5月	●「思多励貿易(上海)有限公司」(「ストリーム上海」)を中国上海市に設立 ●食品添加物の販売を開始
2005年 8月	●(株)ベスト電器と業務提携及び資本提携に係わる「基本合意書」を締結 ●(株)ベスト電器とフランチャイズ契約を締結
2005年 9月	●(株)ベスト電器とのフランチャイズ契約に基づき家電商材の取扱いを本格的に開始
2007年 2月	●東京証券取引所「マザーズ市場」へ株式上場
2009年 2月	●(株)イーベストの全株式を取得し子会社化
2009年 3月	●(株)ソフトクリエイトからインターネット通販事業部門を譲り受け(株)特価COMを設立 ●同年5月より営業開始
2010年 7月	●ストリーム上海を上海ストリームに吸収合併
2010年 11月	●上海ストリームにUS\$235万の増資

■ストリームのネット通販の成長ポイント

■ライフスタイルの変化への対応

消費者のライフスタイルがリアルー辺倒からバーチャル指向を取り入れたものに変化し、ITインフラの拡充とネットセールス手法の充実によりネットショッピングが消費者のニーズを捉えたツールとなりました。

■購買チャンネルとしての定着

多種多量の商品の中から消費者のニーズに合う商品を選ぶ選択肢が飛躍的に拡大し、より賢く、より安く商品を購入

することが可能となりました。

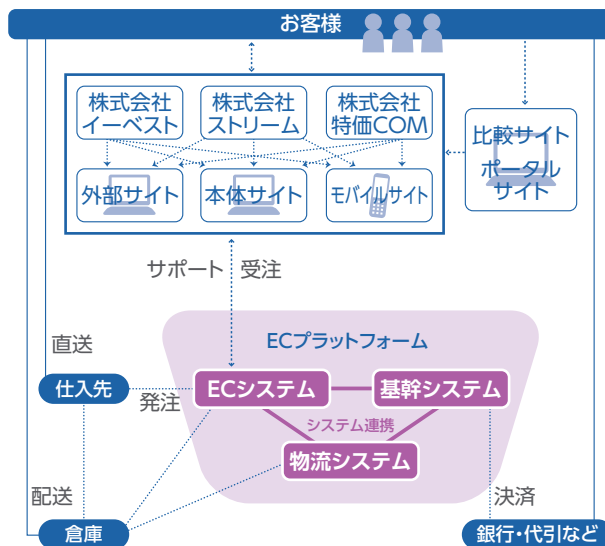
■ショッピングの信頼性・利便性の向上

ECにおける消費者保護の仕組みが向上し、ECに携わる優良な小売業者等が受注、配達、決済などの業務の精度を高め、より迅速に多様な手段を提供することなどによりECに対する信頼度が高まりました。

■ストリームのネット通販のビジネススキーム

当社グループのビジネススキームは、ECシステム・基幹システム・物流システムによるECプラットフォームにて構成されております。仕入から物流まで一元化されており、お客様の受注から出荷まで無駄を排除した、効率的な運営が行われております。

このECプラットフォームを土台としたビジネススキームにてお客様の満足に資するサービスを提供しており、第1回日本版CSI(顧客満足度)において通販業界1位を得ることができました。



その他の事業

その他の事業につきましては、2002年11月中国上海市に「上海思多励国际贸易有限公司」（上海ストリーム）を設立、携帯電話部品の販売及びオリジン電気（株）の塗料を上海地区を中心に販売を開始いたしました。2005年3月（株）林原とトレハロースの中国における販売代理店の契約を締結、同年5月にトレハロースの販売を目的として「思多励貿易（上海）有限公司」（ストリーム上海）を設立し、両社とも専門商社として事業を運営、発展させてきました。

尚、2010年7月に経営の効率化を目的にストリーム上海を上海ストリームに合併いたしました。

取扱商品

塗料	携帯電話、パソコン、家電、自動車部品等の幅広い塗料
太陽電池関連	中国の太陽電池メーカー向けの太陽電池関連の資材販売（バックシート・シーラント・インターコネクター）
食品関連	トレハロース、香料、Ph調整剤・酵母エキス等の販売



太陽光発電パネル
(参考)



トレハロース

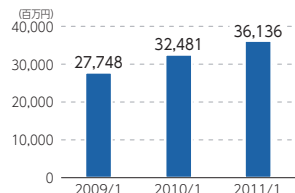
上海ストリーム営業拠点

上海本部・天津事務所・広州事務所・青島事務所・北京事務所・大連事務所の6拠点が営業致しております。これらの拠点はいずれも上海ストリームが扱う商材の需要家が多い地域であり、より顧客の近くで顧客の立場に沿った提案型営業を行うためのものであります。

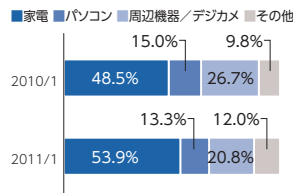


〈事業別業績推移〉

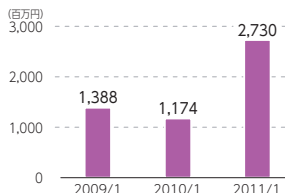
インターネット通販事業売上高推移



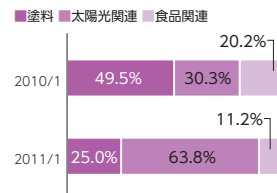
インターネット通販商品別売上構成比



その他の事業売上高推移



その他の事業商品別売上構成比



成長に向けた注力テーマ

〈インターネット通販事業〉

2011年は、スマートフォンの普及、ネットビジネスのグローバル展開、ソーシャルメディア（ツイッター・SNS等）の急成長が予測されております。

このような中、新規商材や既存商材の見直し等により販売力の向上をはかり、収益基盤を固めると共に、顧客満足を重視したサービス提供やECマーケティング力の向上を重要なテーマとし、又、当社のeコマースのノウハウを活かしたサービスの提供も含めた事業展開をはかる考えであります。現在、インターネットの活用があらゆる業界、企業に浸透している中、ビジネスモデルの転換も視野に対応して行かなければならないと考えております。

〈海外ビジネス〉

中国経済の成長により、塗料部門、食品部門、太陽電池関連とともに伸長いたしておりますが、今後は各部門の営業強化策として、新規顧客層の拡大、既存顧客の新規プロジェク

ト等の提案営業策を中心に付加価値の高いサービス提供を行っていく方針です。現在の中国国内6拠点の営業所をより一層充実させるための、組織改革、既存人材の有効活用等により、効率的な営業を行って行く他、事業領域の拡大にも取り組む考えです。

次期投資計画について

当社グループは、システム活用による効率化やコスト削減、顧客サービスの充実等により業容拡大を図ってまいりました。今後もIT技術の進歩、SNS等を用いた各種販売手法の進化をとらえ、より顧客満足に資するようシステム開発力の強化を図ります。



特集 物流システムの構築

業務効率と顧客満足度を大幅に改善！ 「ストリーム物流センター」がスタート

物流が鍵を握る顧客サービス

2010年5月、これまで外注に依頼していた倉庫業務を自社運営に切り替え、新たに「厚木物流センター」としての稼働を開始致しました。

当社グループは、物流センターをネットショップとお客様をつなぐ重要接点として、正確・迅速な物流システムをベースに、自社運営を行うことによりサービス向上に取り組んでおります。当社は自社開発したWMSをベースに、各作業に必要な情報を的確に把握し、在庫管理、商品の入出荷、返品対応、即日配送などの業務をより正確により効率的に行うことでお客様への満足度を高めるよう努めております。

ストリーム物流センター（施設概要）

所在地	神奈川県厚木市		
総床面積	10,058m ²		
設備	荷物用エレベーター	2基	
	人貨用エレベーター	1基	
	フォークリフト	6台	
入出荷作業員	50名		
従業員	10名		

倉庫・物流サービスの提供

倉庫業務を自社運営に切り替え、倉庫・物流業務のノウハウが蓄積されたことにより外部に対して倉庫・物流サービスの提供を開始しました。

今後ともWMSの精度や運営ノウハウを高め受託先を拡大させることも考えております。





さらなる顧客満足度の向上に向けて

「よりよい商品」「よりよい価格」「よりよいサービス」を提供し続けることが当社グループの基本方針であり、最も重要な課題であると認識しております。私どもはお客様

が購入された商品を手に取り満足してお使いになっている姿をイメージしながら、お客様により早く、より正確に商品をお届けすることに持続的に取り組んでおります。



代表取締役社長
劉 海濤

株主の皆様には平素格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
第12期はエコポイント制度の追い風に乗り業績を伸ばすことができました。今後ともEC市場を取り巻く内外の様々な環境変化を捉え、取扱商品の拡充、業務効率化を推進し、収益力の向上に取り組んでまいります。

平成23年4月

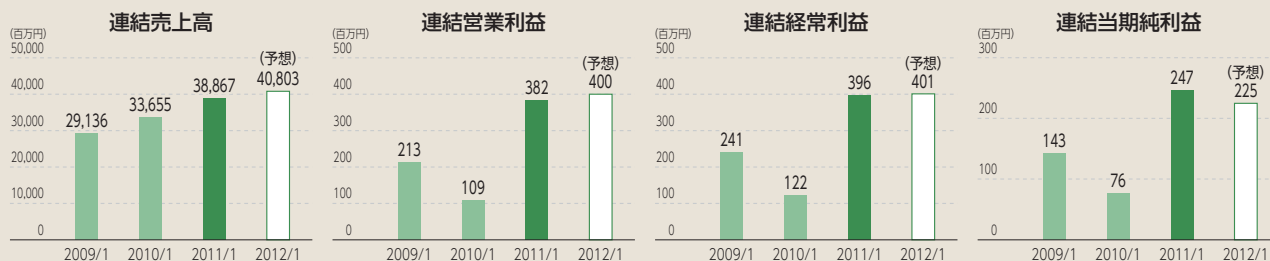
■ 当期の総括—増収増益の達成

当社グループのインターネット通販事業の属する家電小売業界におきましては、家電エコポイント制度の対象商品である液晶テレビ及び洗濯機や冷蔵庫などの白物家電の販売が大幅に伸長し収益は堅調に推移しました。

主力商品の一つである、ノートパソコンの需要は持直し気味ではありますが、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラなどの需要は低調に終わりました。当期は特に力を入れた新規商材の調理器具、時計、自転車などの売上は、前期と比べ大幅な伸び率を示しました。

一方、費用面におきましては、業務量増加に伴う採用増による人件費増やサーバー等の増強等コストアップ要因がありました。平成22年5月に実施した倉庫移転による、物流関連費用の削減効果やその他のコストも適宜見直しを実施し、費用の伸びを抑制することが出来ました。

その他事業につきましては、中国経済の成長を背景に、太陽電池関連の強い需要により、主力商品であるバックシートの販売が大幅に伸長し又、塗料、食品の各部門も堅調に推移し過去最高の売上・利益を計上することが出来ました。



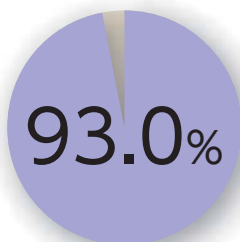
■ 事業別当期の概況 ■

インターネット通販事業

パソコン・家電を中心としたインターネット通信販売事業

売上高 **36,136**百万円（前期比11.3%増）

営業利益 **312**百万円（前期比281.6%増）



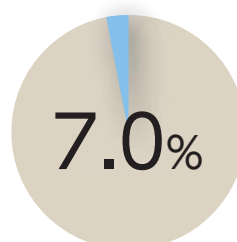
当期のインターネット通販事業は、家電エコポイント制度における対象商品の需要に支えられ、液晶テレビ・冷蔵庫等の白物家電の売上を伸ばすことが出来ました。しかしながら、ノートパソコンが多少持ち直しましたが、デジタルカメラ及びビデオカメラなど低調に終わりました。当期の新規商材である調理器具・時計・自転車などは、大幅な伸びを示し、今後も期待出来る商材となっております。

その他の事業

中国における太陽電池関連の機械・部品の販売、塗料、半導体等の販売、食品添加剤等の販売事業

売上高 **2,730**百万円（前期比132.5%増）

営業利益 **70**百万円（前期比152.8%増）

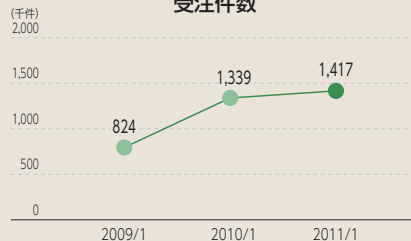


その他の事業につきましては、太陽電池関連の商材であるバックシートの販売が大幅に伸長し、又、中国経済の成長を背景に塗料部門においては自動車や携帯電話などの成長分野への集中、食品部門においては顧客層の拡大と商品ラインナップの充実などに取り組み、その他の事業全体として過去最高の売上高及び利益を計上することが出来ました。

来客数



受注件数

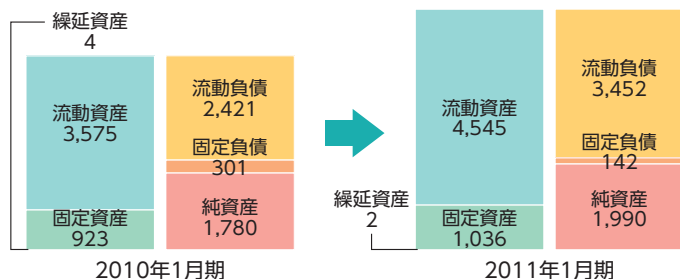


会員数累計



資産・負債・資本の状況

(単位:百万円)



■ 資産の部

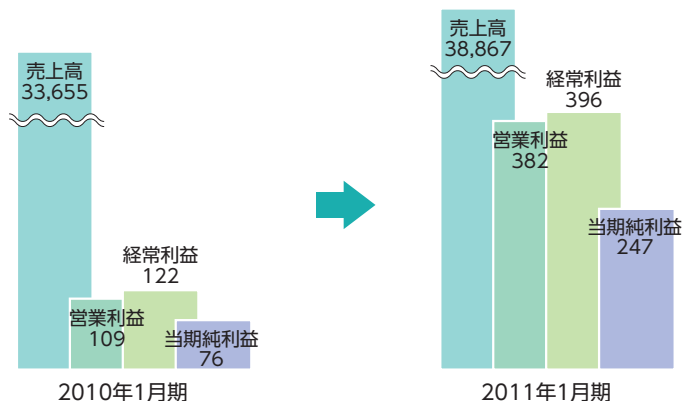
売上増加による現金及び預金62百万円増加、売掛金及び受取手形391百万円増加、商品460百万円増加により前連結会計年度末に比べ1,081百万円増加しました。

■ 負債の部

仕入増加による買掛金622百万円増加、短期借入金300百万円増加により前連結会計年度末に比べ870百万円増加しました。

損益の状況

(単位:百万円)



■ 純資産の部

前連結会計年度末に比べ210百万円増加し、1,990百万円となりました。これは主に、当期純利益の計上247百万円によるものです。

■ 営業キャッシュ・フロー

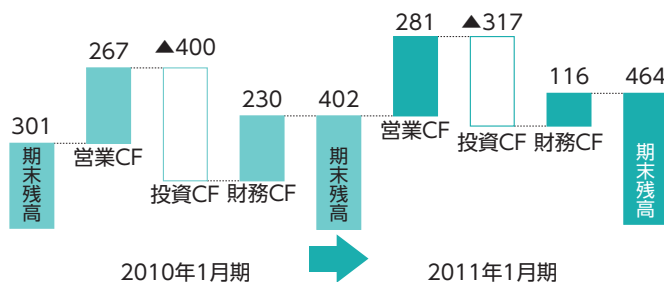
主な収入は税金等調整前当期純利益383百万円、減価償却費151百万円、仕入債務の増加654百万円、主な支出は、売上債権の増加額422百万円、棚卸資産の増加額465百万円によるものであり、結果営業活動で増加した資金は281百万円となりました。

■ 投資キャッシュ・フロー

主な支出は有形固定資産の取得74百万円、無形固定資産の取得168百万円、投資有価証券の取得63百万円によるものであり、結果投資活動に使用した資金は317百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)



■ 財務キャッシュ・フロー

主な収入は短期借入金の純増額300百万円、主な支出は長期借入金の返済44百万円、社債の償還115百万円によるものであり、結果財務活動で増加した資金は116百万円となりました。

● 会社概要 / 株式情報

● 会社情報 (2011年1月31日現在)

社名	株式会社ストリーム Stream Co., Ltd.		
所在地	〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-15-2 新神田ビル7F		
設立日	1999年7月23日		
資本金	6億1,962万円		
事業内容	インターネット通販の運営事業・中国における商社事業		
従業員数	92名・連結従業員数 128名(臨時従業員含)		

● 役員 (2011年4月22日現在)

代表取締役社長	劉 海濤	取締役	小野 浩司
取締役副社長	竹下 謙治	取締役	緒方 政信
専務取締役	作佐部 光浩	取締役	中島 義雄
常務取締役	右田 哲也	常勤監査役	杉山 政美
取締役	高桑 元樹	監査役	中西 一之
取締役	土屋 敏	監査役	加藤 一夫

● 株式の状況 (2011年1月31日現在)

発行可能株式総数	120,000 株
発行済株式の総数	42,750 株
株主数	976 名

● 大株主 (2011年1月31日現在)

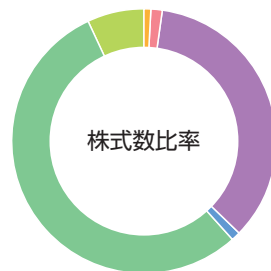
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
劉 海濤	16,000	40.20
(株)ベスト電器	12,540	31.51
劉 琴代	1,000	2.51
日本システム開発(株)	936	2.35
作佐部 光浩	900	2.26
劉 海燕	600	1.51
劉 海波	600	1.51
東プレ(株)	499	1.25
(株)ビックカメラ	466	1.17
(株)SBI証券	430	1.08

※持株比率は、自己株式を控除しております。

株主メモ

上場市場	東証マザーズ
証券コード	3071
銘柄	株式会社ストリーム
決算期	1月31日
事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎決算期の翌日から3ヶ月以内
株主確定基準日	1月31日
公告の方法	当社の公告は電子公告により行います。但し、電子公告によることのできない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に記載して行います。 http://www.stream-jp.com
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 本店
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)
単元株式数	1株

● 所有者別の状況 (2011年1月31日現在)



金融機関	0.93%
証券会社	1.47%
その他法人	35.06%
外国法人	1.05%
個人その他	54.58%
自己株式	6.91%

はじめてのECカレント

ネット通販未経験の方も、まずは使ってみましょう!

1 サイトに行ってみましょう



ecカレント

www.ec-current.com

モバイルは
こちらから→



検索サイトで「ECカレント」を検索するとサイトへのリンクができます。

2 商品を探しましょう

興味あるカテゴリーをクリックすると商品が次々に出てきます。お目当ての商品が見つかりましたら「カートに入れる」ボタンを押します。



3 好きな商品を購入しましょう



続いて商品の購入手続きをします。住所や名前など必要事項を入力し支払い方法を決定します。

※セキュリティは万全です・・・ECカレントはサイバートラストのセキュリティ認証を取得しております。

4 商品を受け取りましょう

購入手続きが済んだら支払い方法をお選びいただき手続きをしましょう。銀行振込の場合は指定の口座に代金を振込むと商品が発送されます。代金引換の場合は商品と引き換えに代金をお支払い下さい。

※他の支払方法についてはサイトをご確認ください。



株主優待制度のご案内

毎年1月末現在の株主名簿に記載または記録された株主様を対象に、ご所有株式数に応じて下記の基準により株主優待券を発行いたします。なお、株主優待券1枚あたり3,000円分の「優待ポイント」と交換させて頂き、当社サイトにてご利用頂けます。

所有株式数	優待券
1株～4株	1枚
5株～9株	3枚
10株以上	5枚

(注) 毎年1回、当社定時株主総会終了後の4月下旬にご案内及び発送を予定しております。

**有効期限は5月1日から
1年間となります。**

Stream 株式会社ストリーム Stream Co., Ltd.

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-15-2 新神田ビル7F

URL <http://www.stream-jp.com>



この報告書は、環境に優しい植物油インキを使用
して印刷しています。